

- 問1 サウジアラビアの輸出統計において、原油が全体の約64パーセント、石油製品が約9パーセントを占め、輸出総額の約四分の三を石油関連が占めているような、特定の資源や農産物の輸出に国の経済が大きく依存している状態を何と呼びますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 混合経済                      2. 市場経済                      3. モノカルチャー経済                      4. 計画経済
- 問2 1980年代初頭と2010年代前半のタイやマレーシアの輸出統計を比較すると、輸出総額が著しく増加していることがわかります。この期間に生じた輸出品目の構成の変化について述べたものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 原油や錫などの鉱産物の輸出に特化し、特定の天然資源への依存度がさらに高まった。                      2. 輸出の中心が工業製品から農産物へと回帰し、食料輸出に依存するモノカルチャー経済となった。                      3. 米や天然ゴムなどの農産物から、自動車や電子機器などの工業製品へと中心が移った。                      4. 経済発展に伴う国内需要の拡大により、輸出総額は1980年代と比較して大幅に減少した。
- 問3 2012年時点の統計において、インド国内で生産された約117万台の自動車のうち、8割以上がインド国内で販売されており、輸出に回される割合は2割未満にとどまっています。この状況から読み取れる、インドにおける自動車産業の特徴として正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. インドの巨大な人口を背景とした国内需要に応えるための、現地生産が主流となっている                      2. 関税を高く設定することで、インド国内での自動車購入を制限する政策がとられている                      3. 技術力が不足しているため、国内で生産された自動車は輸出には適していない                      4. 国内販売よりも、欧米諸国への輸出を最優先した生産体制が構築されている
- 問4 インドで最も多くの人々に信仰されているヒンドゥー教と、現地の社会制度との関係について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 徹底した平等主義を掲げるため、古くから存在するカースト制度を完全に消滅させる役割を果たした。                      2. 特定の聖典や教祖を持たないため、国の法律や政治制度に影響を与えることは一切禁止されている。                      3. カースト制度と呼ばれる身分制度と結びつき、歴史的に職業や結婚などの社会生活に大きな影響を与えてきた。                      4. 仏教から派生した宗教であるため、釈迦（シャカ）の教えに基づき、全ての殺生を厳格に禁じている。
- 問5 インドの自動車産業において、日本の自動車メーカーなどがインド国内に工場を建設し、現地生産を拡大させている主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. インド政府が輸入品に対して関税を完全に撤廃したため、部品の輸入コストが下がったから                      2. 完成車を輸出する際にかかる高額な関税を回避し、販売価格を抑えることで国内販売を伸ばすため                      3. 生産した自動車のほとんどを周辺諸国へ輸出することを主目的として、安価な労働力を確保するため                      4. インド国内の市場規模が小さいため、関税を支払ってでも海外市場への輸出を優先させるため
- 問6 世界の諸地域の位置関係について述べた次の文のうち、緯度や地域の特色に照らして正しい説明を選びなさい。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. オセアニアに位置するオーストラリアは、北緯30度から45度の範囲に含まれており、日本と季節の変化が全く同じである。                      2. 北アメリカ大陸の東部は、南緯30度から45度の範囲に含まれており、日本とは緯度の条件が大きく異なっている。                      3. 西アジアに位置するトルコは、日本の本州とほぼ同じ北緯30度から45度の範囲に含まれ、アジアとヨーロッパをつなぐ位置にある。                      4. アフリカ大陸の北東部に位置するエジプトは、北緯30度から45度の範囲に大部分が含まれる、日本と同じ緯度帯の国である。
- 問7 中東・西アジア地域の地理的特徴に関する説明として、アラビア半島の北東に位置するイランの説明としてふさわしいものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. イスラム教徒の割合が極めて高く、ペルシャ湾の北側に位置している。                      2. アフリカ大陸で最も人口が多く、ギニア湾に面している。                      3. 世界最大のイスラム教徒人口を抱える、東南アジアの島国である。                      4. ナイル川の下流に位置し、古代文明が栄えたアフリカの国である。
- 問8 南アジアに位置するインドでは、人々の生活に宗教が深く結びついています。この国で最も多くの人々が信仰しており、牛を神聖な動物として尊んだり、ガンジス川で「沐浴」を行ったりする特徴を持つ宗教として正しいものを選択してください。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. ヒンドゥー教                      2. イスラム教                      3. キリスト教                      4. 仏教
- 問9 インドにおいて、植民地時代の名残から共通語として英語が普及していることや、高い数学・技術教育を背景に急速に成長した、情報通信技術に関する産業を何と呼びますか。最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 自動車産業                      2. バイオ産業                      3. 重化学工業                      4. ICT産業
- 問10 インド南部などの熱帯モンスーン気候における、気温と降水量の変化の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 夏季は高温多湿だが冬季の寒暖差が大きく、季節風の影響で日本と同様に梅雨の時期にのみ降水が集中する。                      2. 赤道直下に位置するため一年中気温が高く、季節に関係なく毎日午後にはスコールが降り、乾季が見られない。                      3. 一年を通じて気温が高いが、ヒマラヤ山脈に湿った空気が遮られる内陸部のため、年間降水量は極めて少ない。                      4. 一年を通じて気温が高く、モンスーンの影響で夏季に降水量が集中し、雨季と乾季をはっきりと分かれる。
- 問11 世界の諸地域の土地利用について述べた次の文のうち、インドの大きな特徴として正しいものはどれですか。主要な国々の土地利用を比較した統計において、インドは農地面積約1億7960万ヘクタールのうち、その大部分である約1億6936万ヘクタールを特定の用途が占めており、これは他国と比較しても際立って高い割合となっています。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 牧草地・放牧地としての利用                      2. 森林としての利用                      3. 砂漠や氷雪地などの非農耕地                      4. 耕地・樹園地としての利用
- 問12 東南アジアの赤道に近い地域では、年間を通じて月平均気温が25℃を上回り、年降水量が2250mmに達する熱帯の気候が見られます。この地域において、夏は南西から、冬は北東からというように、季節によって吹く方向が変化する風を利用して、古くからダウ船などの帆船による海上交易が発展しました。この風の名称として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 偏西風                      2. シロココ                      3. 貿易風                      4. 季節風（モンスーン）
- 問13 インドで最も多くの人々に信仰されており、聖なる川とされるガンジス川などの川辺で、体を清める「沐浴（もくよく）」という儀式が生活の一部となっている宗教を何といいいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. イスラム教                      2. 仏教                      3. キリスト教                      4. ヒンドゥー教